

# 演習問題

院内がん登録支援

[https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr\\_info/e-learning/](https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/e-learning/)

総合登録演習より

# 演習問題 1

- ◆病院等の名称：A病院  
診療録番号：1234567

## 【基本情報】

- 氏名：栃木 花子（トチギ ハナコ）
- 生年月日：1970年7月25日
- 性別：女性
- 診断時住所：栃木県宇都宮市陽南4-9-13

## 【現病歴】

2024年1月職場の健康診断で便潜血陽性を指摘されたとのことで、心配になり、健康診断実施機関からの紹介状を持たず、当院受診。

# 経過

- 2024年2月15日 当院消化器科を初診。
- 2024年2月22日 下部消化管内視鏡検査施行。下行結腸に病変を認め、生検。
- 2024年2月26日 腹部CTを施行。リンパ節、他臓器への転移を認めなかった。
- 2024年3月1日 生検の病理報告から、下行結腸癌の診断で手術を行うことを本人と家族に説明。
- 2024年3月7日 手術目的で入院。
- 2024年3月8日 Left hemicolectomy（左半結腸切除術） +D3施行。
- 2024年3月22日 経過良好で退院
- 2024年4月3日 外来にて、化学療法開始。
- 2024年6月20日 フォローアップCTで、肝転移を指摘。肝転移治療目的でB病院に紹介。

# 病理報告

## 【結腸粘膜生検 報告 2月26日】

Poorly differentiated adenocarcinoma

一部に管腔構造を認めますが、全体としてはpor1の所見です。

壁深達度：SM

## 【手術切除検体 報告 3月14日】

診断：Moderately differentiated tubular adenocarcinoma

所見：限局した潰瘍性病変に一致して、管状腺癌の浸潤性増殖を認めます。

腫瘍は管状構造を呈しており、一部低分化な部分も認めます。潰瘍底部では腫瘍先進部が固有筋層に達しており原発病巣から離れて、腸管壁外の脂肪組織内に、リンパ節構造を持たない散在性癌病巣を数個認めます。

《リンパ節》 4/17(#231 2/5, #232 1/1, #241 0/3, #242 0/4, #252 0/2, #253 1/2)\*

PM0 DM0 RM0 R0 CurA

※ 下行結腸の領域リンパ節は#231, #232, #253  
詳細は、院内がん登録支援 部位別テキスト大腸参照

院内がん登録実務に関する資料 部位別テキスト：2024年6月版

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/can\\_reg/hospital/manual.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/manual.html)

# 演習問題 2

◆病院等の名称：A病院  
診療録番号：9999999

## 【基本情報】

- 氏名：栃木 太郎（トチギ タロウ）
- 生年月日：昭和22年2月22日
- 性別：男性
- 診断時住所：栃木県宇都宮市陽南4-9-13

## 【現病歴】

肺炎を発症し、2024年7月23日に紹介状をもって当院を受診し入院となった。紹介状には、前医で胃がんの治療をしており、経過観察を依頼する内容があったが詳細な情報は記載がなかった。

※がんに関する情報が乏しく、詳細不明な症例